

# インズの向こうⅥ



誰もいない海

keisuke

## 「レンズの向こう VII」 誰もいない海

御覧いただきましてありがとうございます。

コンデジ片手にレンズを通して見たモノを  
好奇心旺盛に、テーマを決めること無く掲載して行きます。

写真は随時追加いたします。

keisuke



1972年リリース オリジナルアルバム  
「虹をわたって」 収録曲

## 『誰もいない海』

天地 真理

<http://www.youtube.com/watch?v=9giYNgCHq5s>



木製の小さな展望台が . . . .



## ウィンドファーム

---

12基の風車が海岸線に一直線に立ち並ぶ、関東地方における最大の風力発電所  
設備能力 15,000kW(1,250kW×12基) だそうです

よく解らん。。



## 鹿島灘

---

鹿島灘（かしまなだ）は、茨城県東部の大洗～千葉県東部の犬吠埼に広がる太平洋の海域です  
茶色に変色して枯れてしまった松  
松くい虫の被害が深刻です









この先、ハワイまで な～んにも無い。。









朝晩、過ごしやすくなりました













ΣΣ(° ڡ III;;) ゲッ!!

---

落花生の葉を登ってきたら、目の前にカメラが . . . .  
体が固まった瞬間。。



秋には夕焼けがよく似合う

---



ひこうき雲もほんのり茜色

---











## 台風一過

---

台風18号 通過後、天気は急激に回復  
まだ風は強いものの、空気が洗われたように綺麗な夕焼けです。





PM 5:39













ピタッ!! 仲良し ^^



熊本県産 七城メロンパン

七城のメロンは うまかモーモン!! と申しております。



メロン 収穫量、出荷量 共に日本一の茨城で売り出すとは . . . .

さすが、くまモン。 いい度胸をしておるの～ w(° ㄥ °;)w

バカボンのパパは、七城中学校出身だニャ d(^▽^=)

(°▽°=)ノ☆ オテモは何でも知ってるニャ!!

メロンパンより (° 〇 ;) 〇 くまもとサプライズ



小浜海岸

「日本の渚・百選」に選ばれた風光明媚な海岸。  
海食崖に囲まれた入り江は、一枚の絵を見るようです。

撮影日 2013.9.22



2010年、NHK大河ドラマ「龍馬伝」の撮影にも使われました。















水戸市、千波湖畔 水戸藩2代藩主 徳川光圀公 銅像

## 続・北茨城、高萩の海

---

綺麗な砂浜が延々と続いています。

9月も20日を過ぎると数人のサーファー以外、人影はありません。









ひこうき雲



## 「少年の森」のどんぐり

---

時間が無かったので、駆け足でどんぐりだけ拾ってきました。



## 湖畔の花壇

---

千波湖、湖畔の花壇。

まるでカラフルなビーズを散りばめたよう . . . .









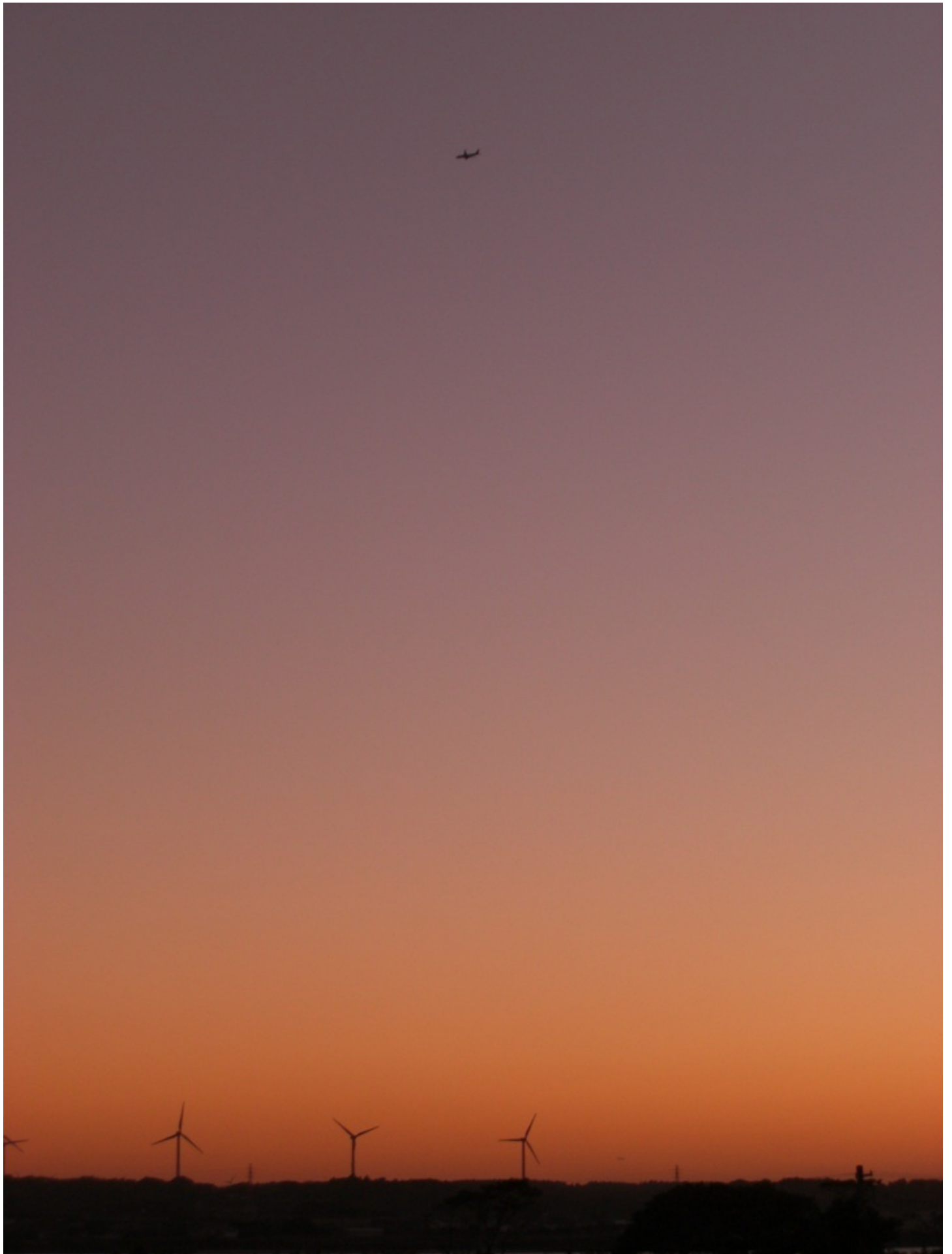




## 夕焼けの空を飛ぶ飛行機

---

この夕焼け、飛行機の中からはどう見えているのだろう . . . . .





チヨット触れたら、落ちた!! w(¯ ¯)w 材-



まだまだ、沢山控えています。



## ドングリも沢山実りました

---

昔、福島県 猪苗代湖のキャンプ場で拾ったドングリの実から育った木です。









( ͡b ͡) シーーツ 静かに!!

---





「しまむら」店内にて・・・、各種揃えてお待ちしているモン。。

ドーナツクッション 680円  
シートクッション 680円  
ルームマット各種 1,900円  
バスマット各種 480円



河口の橋。 茨城県側、千葉県側













極楽鳥花が咲きました。

---



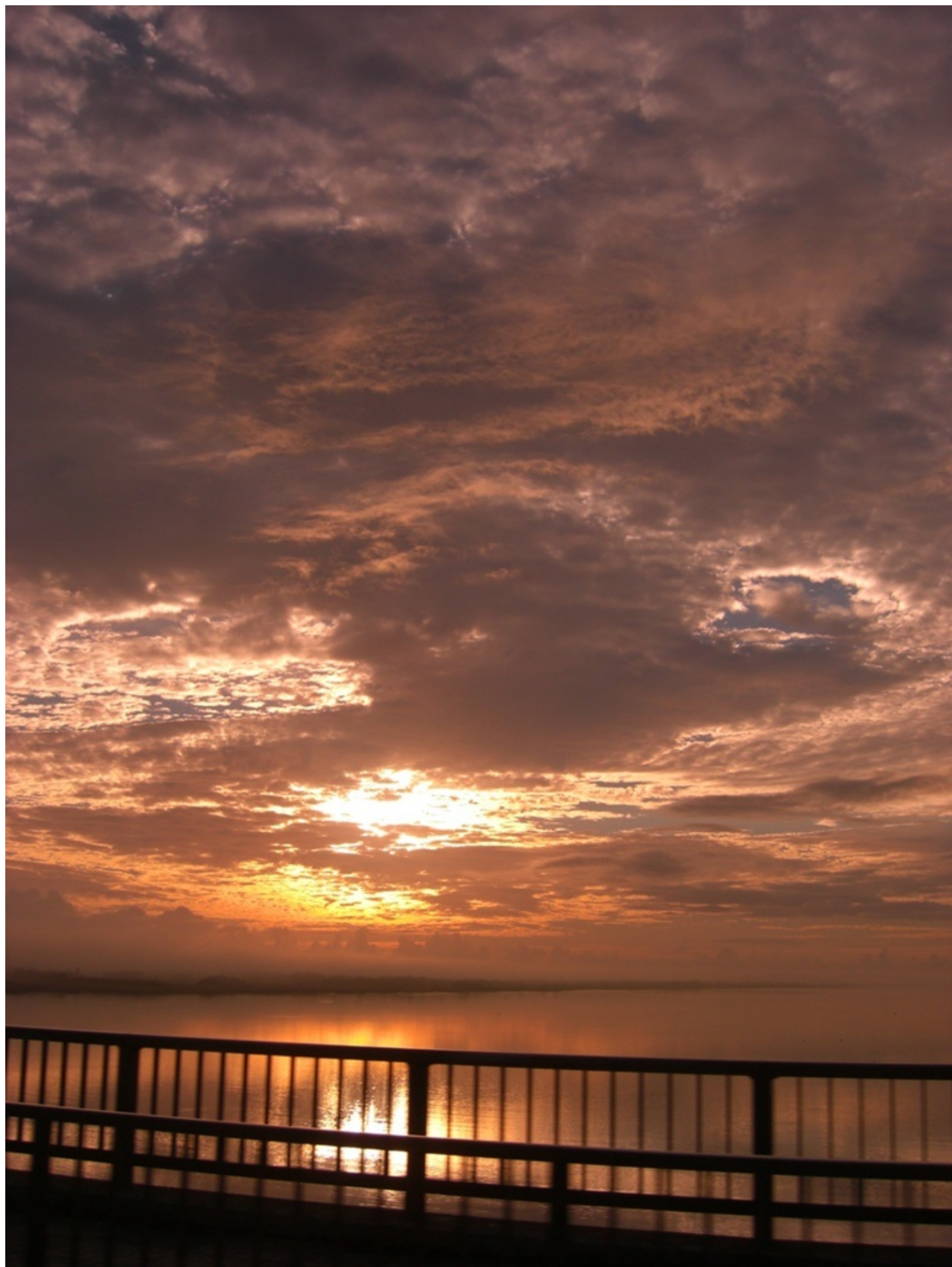












早朝の利根川と利根かもめ大橋からの朝焼け





河口の橋。

---





漁港に咲く花、ランタナ。

---





10月21日 AM7:50













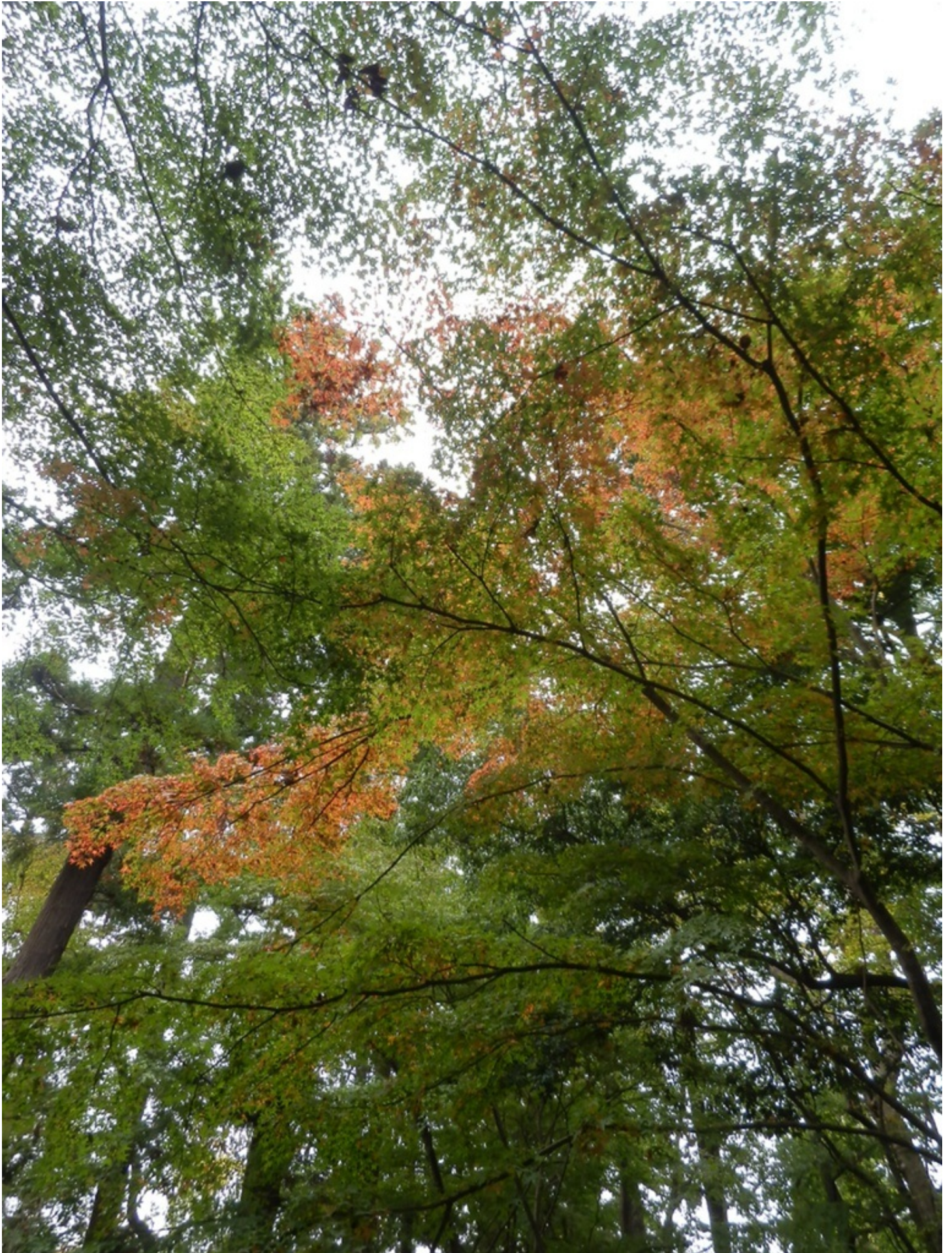
茨城県水戸市、千波湖となりの「少年の森」、今年の秋も行ってきました。  
でも、紅葉には少し早かったようです(^\_^;)



どんぐりの実は沢山落ちていました。



紅葉の見頃は、11月下旬頃でしょうか？ ^^







<http://www.youtube.com/watch?v=xRfrfWljAF0>

作詞：山上路夫　　作曲：森田公一

あの坂の道で　二人言ったさよならが  
今もそうよ　聴こえてくるの  
また眠れなくて　ひとり窓に寄りそえば  
今日も星が　とてもきれいよ  
あなたのもとへ　いそいそと季節の花を　かかえては  
訪ねたの　あれはまるで遠い夢のようね  
あんなに素晴らしい愛が　何故に今はとどかないの　あなたのあの胸に

あの駅を降りて　そうよ坂をのぼったら  
あなたの家　見えてくるのよ  
もう知らない人住んでいるの　あの部屋は  
窓に咲いた　花もないのよ  
きらめくような　ひとときをあなたと生きて　来たことを  
これからも忘れないわ　いつも胸に抱いて  
あんなに素晴らしい愛が　何故に今はとどかないの　あなたのあの胸に

あなたのもとへ　いそいそと季節の花を　かかえては  
訪ねたの　あれはまるで遠い夢のようね  
あんなに素晴らしい愛が　何故に今はとどかないの　あなたのあの胸に